

科学技術立国を支える化学系博士人材の育成支援小委員会（第25期・第7回）議事要旨

日時:令和4年12月10日(土)15:00-17:00

場所:オンライン会議(Zoom)

出席者:相田美砂子、伊藤耕三、岡本裕巳、加藤昌子、北川尚美、君塚信夫、小林昭子、菅原洋子、菅裕明、関根千津、竹岡裕子、玉田薫、茶谷直人、中村栄一、西原寛、西村君平、渡辺芳人

欠席者:阿尻雅文、川合真紀、高原淳、高柳大、所千晴

(敬称略)

資料1:博士小委員会7資料(221210)

資料2-1:化学委員会化学企画分科会第6回1008議事メモ(要確認)

資料2-2:化学委員会化学企画分科会第6回1008議事要旨(要確認)

資料3:見解案_ver4

議題および議事

1. 前回議事要旨(案)、議事メモ(案)の確認

修正なく承認された。

2. シンポジウム後の動き(情報共有)

- ・他分科会からシンポジウム・アンケートについて問い合わせをいただき、対応した。
- ・研究力強化検討会とコンタクト継続中。

3. 化学と工業特集準備状況確認

- ・原稿2件を提出済み。他は準備中。
- ・締め切りの12月20日までに提出を完了する。

4. 意思の表出確認

- ・資料3に基づいて、構成と見解(案)を説明した。
- ・アンケートから得られた示唆として、博士課程に進学する学生の特徴に関して見解を述べる。
- ・博士進学をしない理由のトップであった「早期経済自立、社会進出魅力」への対応として、自立に相当するような経済支援等とその情報の周知を適切なタイミングで行うことを提案する。
- ・修了後の就職の不安への対応としては、博士学生の企業就職状況等を既存の調査を活用することを提案する。
- ・経済効果への対応については、大規模アンケートを提案する。
- ・魅力ある大学院教育については、資料3P25記載の見解を記載する。
- ・12/22の講演資料については、西村先生と関根の資料をすり合わせ、つながりのあるものとする。
- ・事前に見解案のプレゼン資料を委員に回付する

5. その他関連事項、今後の予定

- ・12/9(金)八大学工学系連合会「博士フォーラム」:関根がパネリストとして参加
- ・博士小委員会で実施したアンケート結果を公開し、さらに意見収集などを行う検討をする。
- ・12/22(木)化学委員会合同分科会にてプレゼン:西村先生と関根が事前にすり合わせをしておく。
- ・同日 博士小委員会(化学委員会・化学企画分科会合同開催)プレゼンへの意見を踏まえ、方向性を相談して決める。
- ・1/14(土)15:00-17:00 第8回博士小委員会開催
- ・2/11(土)15:00-17:00 第9回博士小委員会開催
- ・できれば2月中に見解を提出したい(査読を受ける提出期限は3月末)。

以上